

科目ナンバリング		U-LAS01 10005 LJ38									
授業科目名 <英訳>		東洋史Ⅰ Oriental History I				担当者所属 職名・氏名		人文科学研究所 教授 人文科学研究所 教授 人文科学研究所 教授		古松 崇志 村上 衛 石川 禎浩	
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	歴史・文明(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	火2		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
国交正常化から半世紀以上が経った現在、日中関係にかつての「友好」の面影はない。さらに近年は、中韓関係と米中関係が、それぞれロシアによるウクライナ侵攻と米中の貿易摩擦や台湾海峡問題の顕在化という情勢の変化にともなって、大きく流動化し、日中関係もコロナ禍による往来の制限が解除されたのちも、旧に復するどころか、さらに不透明感を増している。 だがその一方で、日本と中国の経済の結びつきは相変わらず強く、もはや互いの存在を抜きにして、両国の経済は考えられない。また、漢字をはじめ長きにわたって共通の文化的基盤をもとに交流を重ねて来た両国だけに、相手国に対するイメージが少々悪くとも、容易に関係を断つことができないのも事実である。 このような現在の日中関係を考えるにあたっては、古代以来のその関係が数百年単位の長いスパンで見た場合、どのように推移し今日に至っているのかを知ることが、間違いなく重要である。本講義は、このような現状を意識しつつ、長期的な視野に立って、9世紀から20世紀後半までの日中関係を政治・社会・経済・文化の多様な側面から検討する。そして日中間の交流・対立や相違点・類似点についての歴史的な理解を深めるようにしたい。											
【到達目標】											
9世紀から20世紀後半までの日中関係について、政治・社会・経済・文化面を中心に基礎的な知識を習得し、日中間の交流・対立や日本と中国の相違点・類似点について歴史的に理解できるようになる。											
【授業計画と内容】											
第1回	ガイダンス										
第2回	密教の日本伝来とユーラシア東方(古松)										
第3回	巡礼僧と海商(古松)										
第4回	大交流の時代(古松)										
第5回	元明交替と室町文化(古松)										
第6回	日中の差違――明末～清代中期(村上)										
第7回	明治維新と洋務運動(村上)										
第8回	在華紡と中国紡(村上)										
第9回	近代日中製糸業の展開(村上)										
第10回	日中対立と中国経済(村上)										
第11回	西洋近代文明の受容における日中の相違(石川)										
第12回	中国の革命運動と日本の関係――支援と介入(石川)										
第13回	日中戦争と中国共産党・中国国民党(石川)										
第14回	戦後日中関係の展開――国交正常化へ、そしてそれから(石川)										
《期末試験／学習到達度の評価》											
第15回	フィードバック										
-----東洋史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓-----											

東洋史Ⅰ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験（筆記）

[教科書]

使用しない
適宜プリントを配布する

[参考書等]

（参考書）

荒野泰典・石井正敏・村井章介（編）『日本の対外関係 3 通交・通商圏の拡大』（吉川弘文館）
ISBN:978-4-64-201703-9

荒野泰典・石井正敏・村井章介（編）『日本の対外関係 4 倭寇と「日本国王」』（吉川弘文館）
ISBN:978-4-64-201704-6

吉澤誠一郎『シリーズ中国近現代史 清朝と近代世界』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431249-9

川島真『シリーズ中国近現代史 近代国家への模索』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431250-5

石川禎浩『シリーズ中国近現代史 革命とナショナリズム』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431251-2

久保亨『シリーズ中国近現代史 社会主義への挑戦』（岩波書店）ISBN:978-4-00-431252-9

[授業外学修（予習・復習）等]

参考書などを読み、中国近世・近現代史についての基本的知識を身につけてから講義に臨むこと。

[その他（オフィスアワー等）]

教員（石川禎浩）の連絡方法は以下のとおり

メール：ishikawa.yoshihiro.7v@kyoto-u.ac.jp 電話：内6934

オフィスアワー：毎週月曜9:30-10:30

[主要授業科目（学部・学科名）]